

あらぶんち散歩 vol.86

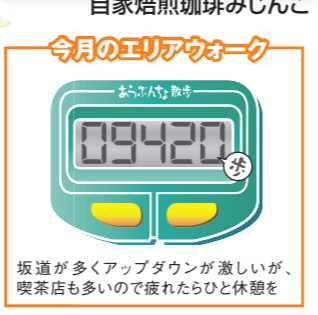
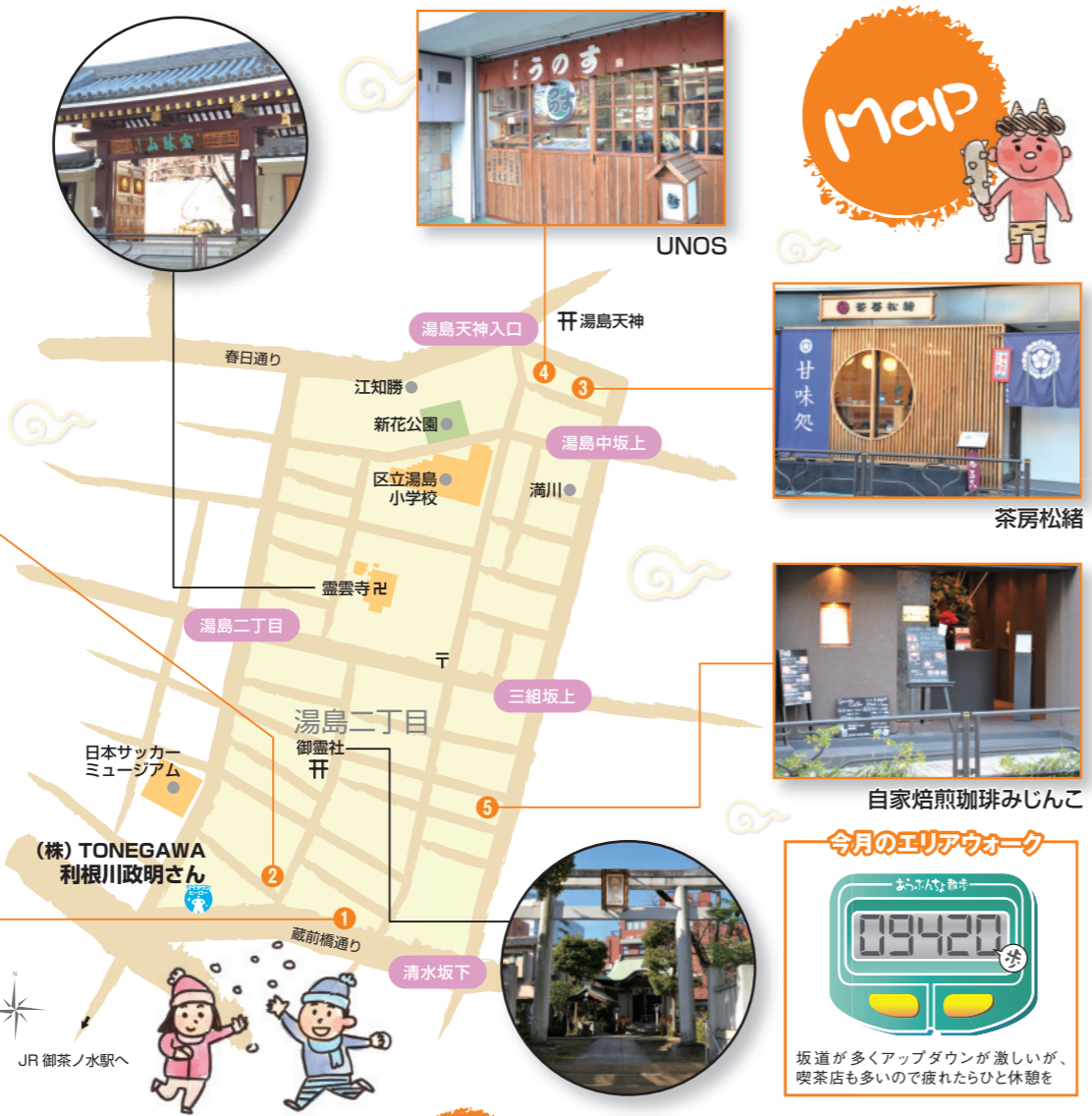
ゆしまにちょうめ

湯島二丁目

文京区

天神様のお膝元として、江戸の昔から栄えてきたこのエリア。ビルやマンションが多くなりましたが、歴史ある湯島小学校や文人たちが通ったお店もまだ健在。小さな路地にお店を発見したり、趣きのある寺社仏閣があったり。お散歩好きにはたまらない町です！

新花公園のトレードマーク、くじらの遊具。ほんわかとほれた顔立ちに癒やされます



江戸時代から花街として賑わい 文人たちにも愛されてきた湯島

古くから湯島天神の門前町として賑わったこの辺り。江戸時代は「大根畑」「御花畑」「新町屋」と呼ばれ、明治5年に「湯島新花町」と改称、昭和40年現行の「湯島」に。明治から昭和初期にかけては、芸妓を呼んで御座敷をあげるような店も多く、帝大生や文士が集う花街として賑わったそう。明治30年頃は島崎藤村も住んでいたという。湯島の芸妓は天神の梅鉢の紋にちなんで「梅鉢芸者」と呼ばれたとか。今は花街の面影はないが、文豪や著名人も通ったというすき焼きの老舗「江知勝」や、料亭の佇まいを残すうどんすきの「満川」で、当時の雰囲気を感じてみる。



江知勝 文京区湯島2-31-23 Tel.03-3811-5293



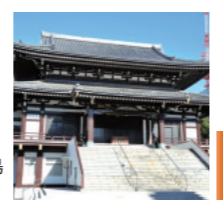
満川 文京区湯島2-26-1 Tel.03-3831-5018

湯島天神だけじゃない! 湯島には由緒あるお寺や神社が

実は、湯島天神以外にも長い歴史を持つ神社や仏閣が湯島にあるのをご存知ですか? 霊雲寺は、元禄4年(1691年)に徳川幕府の永代祈願所として柳沢吉保を通じ、將軍綱吉の信任を得た浄嚴律師が創建した真言宗霊雲寺派の総本山。この場所に創建されたのは、江戸城から見て北東の鬼門を鎮めるためとか。また、急坂の途中にある御霊社は、旧湯島新花町の氏神様として「畑の稲荷」「大根稲荷」と人々に親しまれてきた神社で、京都の御霊神社から御分霊を賜り、宝永7年(1710年)に創建されたものだそうです。



御霊社 文京区湯島2-11-15



霊雲寺 文京区湯島2-21-6

梅まつり実行委員長 (株式会社TONEGAWA会長) 利根川政明さん

人々のふれあいの場として、梅まつりが100年続くように

「梅まつりも今年で第58回目。約1カ月間と文京花の五大まつりの中で開催期間が一番長く、期間中は45万人の人が訪れます。週末は物産展のほか、神輿や野点、フラダンスにカラオケコンクールなど多種多様な催しが行われ、非常に賑やかですよ。約300本の梅が咲き誇る梅園も、早咲き、中咲き、遅咲きとあるので、1カ月間いつでも楽しめます。もともとこの梅園は、戦火で荒れてしまった町の復興を願って地元有志がかんやスコップ持参で湯島天神に集まり、土を耕すところからはじめたものです。天神様が掘り所となり、町のコミュニケーションづくりにも一役買ってくれています。この辺りは「山手の下町」と言いますが、きつぷりがよくて男気がある。私も赤字覚悟で地域の情報を載せた『湯島本郷マーチング通信』など発行していますが(笑)。そういう、地域のために尽力する気風がこの町にはあります。梅まつりが100年続く祭りになるよう、しっかり後人を育てていきたいと思っています」

←梅園は境内のほか、男坂、女坂のほうにもあり ↓『湯島本郷マーチング通信』のほか、イラストで描かれた『湯島本郷百景』も利根川さんの会社で印刷している

第58回文京梅まつり 日時:2/8(日)~3/8(日) 会場:湯島天神 境内 TEL:03-3836-0753(社務所)

1 麵屋睡蓮

つけ麺とラーメンが 週替わりで楽しめる店

昨年6月にオープンした新店ながら、早くも人気のラーメン店。じっくり1日以上炊いて作る鶏白湯スープに魚介だしをプラスした、絶妙な「こってりだけどあさり」味。つけ麺とラーメンが週ごとに入れ替わるので、詳細はツイッターでご確認ください。

住所:文京区湯島2-2-1東邦深澤ビル1F TEL. なし(ツイッター:@suirenryushima) 営業時間:11:00~15:00 / 17:00~19:45LO(土は昼のみ) 定休日:日・祝

2 ベーグルビーバー

砂糖も油も一切使わない ヘルシーなベーグル屋さん

2013年オープンを知る人ぞ知るお店。国産の「はるゆたか」「キタノカオリ」などの銘柄小麦を、ブレンドせずにストレートで使用したベーグルは、小麦の味と香りが全然違う! 安心安全をコンセプトに添加物や砂糖などを一切使わないため、小さなお子さんにも◎。

住所:文京区湯島2-5-17蟹澤ビル1F TEL. 090-3336-7575 営業時間:8:00~13:00(売り切れ次第終了) 定休日:日・祝

3 茶房松緒

和服美人に癒やされる 本格的な和カフェ

昨年5月にオープンした茶道をコンセプトとした和カフェ。店名は、茶道でお湯が沸く音を「松籟」ということに由来するそう。珈琲・紅茶に加え、お抹茶もいただくことができる。ていねいに手作りされたお料理や甘味と、ゆったりした時間を味わって。

住所:文京区湯島2-33-11岡田ビル1F TEL.03-3834-3883 営業時間:11:00~19:30LO(水・土・日祝~17:30LO) 定休日:火

4 UNOS

江戸文字書家・橋右之吉さんの アトリエ兼ショップ

橋流寄席文字・江戸文字書家の橋右之吉さんは、「昔からある物を現代の生活の中で使えるように」と火消しの「消し札」のストラップやミニ千社札などを考案。江戸の粋を伝える商品は土産としても人気が高い。梅まつり期間中は湯島天神境内にも出店(週末のみ)。

住所:文京区湯島2-33-9 TEL. 03-6240-1711 営業時間:9:30~17:30 定休日:土・日・祝

5 自家焙煎珈琲みじんこ

こだわりの自家焙煎珈琲と 絶品スイーツが味わえる

産地や農園まで厳選したスペシャルティ珈琲豆を使用。毎日自家焙煎し、フレッシュで香り高い珈琲を提供している。ケーキ類もすべて手作りで、14時から注文できるホットスイーツは人気が高く行列ができるほど。平日の16:30~17:00ごろが狙い目です。

住所:文京区湯島2-9-10湯島三組ビル1F TEL.03-6240-1429 営業時間:11:00~19:15LO(ホットスイーツは14:00~) 定休日:火